

2022年10月6日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

**オリックス・ビジネスセンター沖縄、SmartDB®導入で Notes 移行
～現場主体の業務アプリ開発を通じてデジタル人材を育成～**

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび、オリックス株式会社 100%出資の子会社であるオリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社（本社：沖縄県那覇市、取締役社長：小林 健太、以下 オリックス・ビジネスセンター沖縄）が、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」を導入したことを発表します。オリックス・ビジネスセンター沖縄は、2022年10月より SmartDB®で構築した業務アプリの利用を開始しました。

**オリックス・ビジネスセンター沖縄**

スマートデービー

SmartDB**■ノーコード・ローコード開発基盤が必要とされた背景**

オリックス・ビジネスセンター沖縄は、オリックスグループが展開する法人金融サービス事業やメンテナンスリース事業、生命保険や銀行などのリテール事業などにおける事務業務やコンタクトセンター業務を受託するシェアードサービス企業です。オリックス・ビジネスセンター沖縄では受託業務における生産性向上のため、2009年から業務の可視化に取り組んでおり、2014年にはドリーム・アーツが提供した独自開発の「ECO まるアーツ」^(※1)を活用し、業務や作業において「可視化」「計測」「分析」「改善」を繰り返す独自のマネジメント手法^(※2)を確立しています。この取り組みと成果が評価され、現在ではオリックスグループのバックオフィス改革を主導する役割も担っています。

受託業務を対応するフロント部門ではデジタルを活用したさまざまな取り組みが進む一方、バックオフィスでは長年利用していた「Notes」の廃止が迫っており、業務デジタル化基盤の刷新が急務となっていました。また、その他の解決したいいくつかの課題もありました。たとえばワークフローが伴う申請業務においては、業務変更に合わせて改修が必要なため、知識のある特定の担当者に依存する状態になっていました。また、複数の業務アプリ間で共通したマスタを関連づけることができず、人事情報などのマスタデータが散在していました。

これらの課題を解決するため、オリックス・ビジネスセンター沖縄では新たなノーコード・ロ

ーコード開発基盤の検討を開始しました。

※1 ポータル型グループウェア「INSUITE®（インスイート）」をベースに実装

※2 オリックス・ビジネスセンター沖縄独自のマネジメント技法を元にした取り組み、「ECOまるマネジメント」

<https://www.orix.co.jp/obco/improvement.html>

■SmartDB®がオリックス・ビジネスセンター沖縄に選ばれた理由

オリックス・ビジネスセンター沖縄が新しい業務デジタル化基盤を導入するうえで最も重視したのは、Notes移行において、バックオフィス部門の業務担当者が自ら業務アプリを開発できることでした。SmartDB®を採用した理由は下記のとおりです。

【SmartDB®が評価されたポイント】

1. ノーコード・ローコード開発で幅広い業務を内製化できる
2. 改修やメンテナンスを現場主体でスピーディーに対応
3. 高度なワークフロー機能で複雑な申請・承認プロセスに対応

まずは総務部主体で開発を進め、2022年10月から「証明書発行申請」、「車両通勤申請」などで業務アプリの利用を開始し、2023年3月までに全25種類の帳票をSmartDB®へ移行する予定です。

今後、業務部門の担当者自らが主体的にデジタルを活用した業務改善に取り組める環境を整備し、そこで得られたスキルやノウハウを活かした業務改善マインドを持つ「デジタル人材」の育成を目指します。

【イメージ：Notes から SmartDB®に移行する帳票例】



総務

- ・フレックスタイム利用・終了申請
- ・欠員補充申請
- ・積立保存休暇申請
- ・証明書発行
- ・短時間勤務取得申請
- ・資格・免許取得届
- ・仮払申請（30万円未満・以上）
- ・慶弔休暇申請
- ・住所変更届兼通勤費支給申請書
- ・退職連絡票
- ・車両通勤申請
- ・育児休暇・休職申請
- ・傷病休暇・休職申請
- ・介護休暇・休職申請
- ・産前・産後休暇申請
- ・家族異動届

人事

- ・人事考課 目標管理シート
- ・人事考課 評価書

リスク管理

- ・インフラ依頼申請
- ・是正処置管理票
(社内規格に対する不適合の報告、再発防止策の検討)

■オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社 取締役社長 小林 健太 氏 からのコメント

オリックス・ビジネスセンター沖縄とドリーム・アーツの協創は、9年前の「ECO まるアーツ」構築プロジェクトに端を発します。「ECO まるアーツ」は「ECO まるマネジメント」に欠かせないツールとなっており、「ECO まるアーツ」で計測したデータを基にバックオフィス業務の業務改善を続けてきました。そして今回導入を決めたノーコード・ローコード開発基盤 **SmartDB®**は、オリックス・ビジネスセンター沖縄の新たな武器となります。喫緊の課題であるスピーディーな Notes 移行のほか、業務デジタル化を実現できる「デジタル人材」を業務部門に育成することにも貢献してくれるでしょう。

現在は、総務部が中心となり Notes 移行の準備をしている段階ですが、今後は **SmartDB®**の活用により、オリックス・ビジネスセンター沖縄がさらなる生産性管理・向上ができると確信しています。

ドリーム・アーツには、引き続き“協創パートナー”として末長くご支援いただけることを期待しております。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※3)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※3 テクノ・システム・リサーチ「2021 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数 1,000 名以上)」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の課題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド **SmartDB®**、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shopらん®** (ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®** (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2022 DreamArts Corporation.